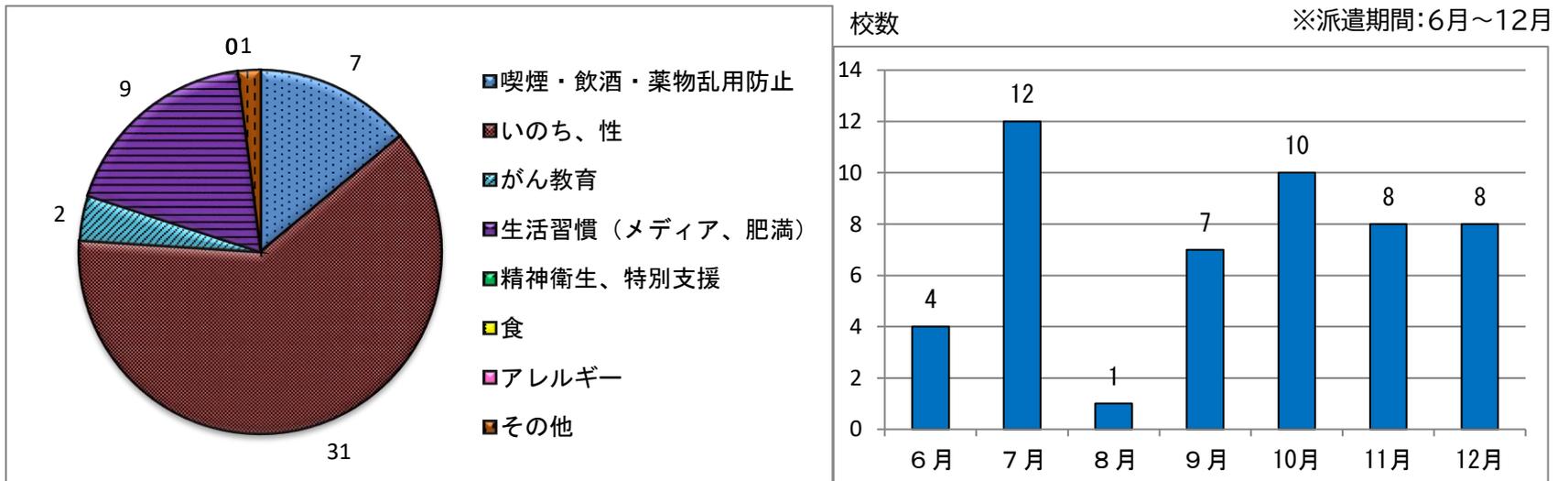


令和7年度 子どもの健康づくり連携事業 専門医の派遣実践のまとめ(一部抜粋)



| 実施校 | 専門医の領域 | 内容 | 対象 | 感想 |
|--------|--------|-----------------|-----------|---|
| 小学校 | 放射線科 | 喫煙防止教育 | 5年生教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・タバコは健康に悪くて、残りの人生が苦しくなるからタバコは一生吸いたくない。先生に教えてもらったことを家族に伝えたいと思った。 ・家族の中に前までタバコを吸っていた人がいたのだけれど、自力でやめられたことはすごいことなんだと思った。 |
| | 小児科 | 生活習慣とメディア | 6年生保護者教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやゲームを長時間すると、首の筋肉が疲れることを知り、これからは長時間しないようにしようと思った。そして週末には、使いすぎをやめて、筋肉のストレッチをしようと思った。 ・メディアは子どもだけではなく、大人も一緒に見直していかなきゃいけない問題だと改めて思った。私自身もスマホは手放せない必需品となり、無いと不安になり、依存傾向にあると感じます。少しの時間でもデジタルデトックスを子どもとやっていき、生活リズムを整えていけたらと思います。(保護者) |
| 中学校 | 産婦人科 | 性・いのち | 3年生教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今まで産婦人科に対するハードルが高かったけれど、気軽に訪れても大丈夫であるところだと聞き、とても安心した。人に頼ることが自立への近道であることを忘れないようにしたい。 ・どんなことでも相談するのは抵抗があったが、勇気をもって相談することは自分を守ることにつながると知ったので、勇気を出して1回できれば、私は大丈夫だと思えることができました。 |
| | 精神科 | 薬物乱用防止 ネット依存 | 全校生教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・依存というのは、何も自分の周りにはないときに起きやすいのだと分かった。依存にならないために、現実世界での人との関わり方を大事にしていきたい。 ・ネット依存の話からは自分に当てはまるが多かったので、SNSやゲームとの関わり方を考えていきたい。 |
| 高等学校 | 産婦人科 | 性・いのち | 全校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・体や心の変化を正しく理解する大切さを再認識させてくれた時間だった。知識だけではなく、相手を思いやるコミュニケーションや安全な性行動の実践についても具体的に学べ、自己肯定感や責任感が芽生えた。 ・多様性を認め、他人を思いやる精神が大事だとわかった。様々な価値観を認めて生きていきたい。 |
| | 緩和医療科 | がん教育 | 全校生教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・大切な人の残された時間が限られているとき、自分は何もできないと思ったが、何もしなくても顔を見せるだけでもいいと言ってくれたことが印象に残った。 ・治療法が進化し、その人に合ったオーダーメイドの治療ができることに希望を持てた。 ・男性でもHPVワクチン接種が大事なことを知ることができた。 |
| 特別支援学校 | 小児科 | 性・いのち | 保護者教職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がいがある、ないにしろ、身体が大人に成長するのは、ほぼみんな同じであることなので、女の子は母が、男の子は父がとあまり分担せず、みんなで大人になる身体のことを学べたらなと思った。そして「相談より雑談」を大事に、子どもの体だけでなく心の成長も大切にしたいと思う。大人になって性に関することを学ぶ機会は、なかなかないのでとても貴重な機会だった。(保護者) ・「今」の時代に求められる性教育を知ることができた。どのような言葉掛けや指導(関わり)をすると良いのかを保護者と教師が同じ立場で一緒に知ることができて良かった。(教職員) |

令和7年度 子どもの健康づくり連携事業 専門医の派遣 事業評価（各実践校から報告書より）

- ① 健康課題の解決について
 とても有効92%、有効8%、課題が残った0%
- ② 保健教育における校内連携について *教育課程を中心にとらえ組織的、計画的に推進する
 とても有効86%、有効14%、課題が残った0%
- ③ 校外の関係機関等との連携について *派遣専門医を含む
 とても有効88%、有効10%、課題が残った2%

| | |
|--|---|
| <h3>健康課題の解決について</h3> <p>■とても有効 ■有効 ■課題が残った</p> <p>とても有効 92%</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠不足で起こる健康障害や睡眠の必要性について、グラフや具体的な数値を用いて話をしていたとき、子どもの理解が得られた。また、専門医の説得力のある説明に睡眠時間確保の大切さを理解することができた。 ・全く同じことを話しても、「医師」の話を聴くのと「教師」の話を聞くのでは、生徒にとっては残る印象がまったく違うので、専門医による講演の効果を感じている。 ・喫煙が身体に及ぼす悪影響が非常に大きいことを画像を提示しながらわかりやすく講義していただき、興味本位で初めて吸ったたばこが喫煙の習慣につながることを、またその時期が20代前半であることを学習できたことは、生徒のこれからの人生を大きく左右することである。 ・生徒の性に関する行動の幼さが目立ち、またSNS等での不誠実な性情報に惑わされる様子もみられる。興味半分ではなく「性」を知ることが「生」を知ることにつながるといった「ライフスキル」としての「性」について専門医から講話いただき、課題解決につなげることができた。 ・電子メディアが健康や発達に影響があること、土日の過ごし方、家庭のルールの持ち方やメディアを子どもに「貸す」という考え方について等、児童と保護者が一緒に学ぶ機会を作れた。 ・事前アンケートを踏まえて講演をしていただいた。参観日に親子一緒に講話を聞く機会を設定したので、メディアの使用について家庭でのルールを見直したい等の感想があった。保護者の出席率も高く、関心の高さが伺えた。 |
| <h3>保健教育における校内連携について</h3> <p>■とても有効 ■有効 ■課題が残った</p> <p>とても有効 86%</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の中に位置付け、発達段階を考慮し、保健教育と保健指導と関連させて、系統的に学べるように計画を進めている。 ・講演のテーマは「性」ではあるが、社会的な諸問題や歴史的なこと等さまざまな要素が複雑に影響し合っていることが紐解かれていた内容であった。各教科を担当している学年の担任も講演を聞き、担当教科と関連付けられるところを明確にした。 ・管理職、担任、養護教諭で学年に必要な内容を検討し、講話を依頼することができた。講師との連絡調整、性に関する事前学習、当日使用する物品の準備、当日の会場準備など、連携して実施できた。 ・科目保健の授業の中でも扱っている発展的な内容であったため、普段の授業と実生活をつなぐ役割を果たし、生徒の理解をより深める機会となった。 ・保護者と教職員が合同で講演を拝聴し、児童に必要な教育内容について、学校全体で考えていくきっかけとなった。今後、分掌部会等での話し合いを通して、組織的に性に関する指導に取り組んでいく土台づくりができた。 |
| <h3>校外の関係機関等との連携について</h3> <p>■とても有効 ■有効 ■課題が残った</p> <p>とても有効 88%</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・メールを通して、当日お話いただきたい内容、当日の流れ、準備物品等について、事前に専門医と情報交換ができた。また、当日専門医より、職員向けの講演会についても実施可能であると伺い、今後の研修内容を検討する上での参考となった。 ・性教育分野では、初めての御依頼だったことから山形県産婦人科医会ホームページに掲載されている「山形県性教育チーム事業」の性教育講師リストより、講師選定を行った。生徒目線での内容、スライド資料に、経験の豊富さを感じた。 ・講師の先生とは、事前打ち合わせシートを活用し、生徒の実態、講演の目的、関連教科で生徒が事前に学んでいること、必要物品の確認を行った。配慮の必要な生徒の調査も行い、当日対応ができるような体制をとった。 ・学校が統合を控えているため、昨年度より統合先の学校と計画をし、同じ講師の先生に依頼をして内容を合わせた講演をしていただく等、先を見据えた取り組みができた。 |